

(2) 神林地区地域活性化事業について

(前回のまとめ)
 「多くの団体に集まってもらうのではなく、最初はお幕場・大池・平林城跡で活動している団体に地域活性化について協議していただき、その結果を基に事業を計画する」

ア 荒川地区とネットワーク化を図って、荒川地区に来た人を神林地区にも来てもらえるような施策をみんな考えていくことが必要だと思います。

イ 道の駅からかみはやし農協の付近が中核地域になるように思っていますが、この地域の特産品を私達も実際に作ってみて、商工会などとタイアップしてPR、販売していくことが重要だと思います。

ウ 「神林」という名前は他地域から見るとインパクトのある名前らしく、アピールできる名前だと思うので、「神林」という名前の入ったキャッチフレーズを考えてみるのも面白いと思います。

エ これまでは個々の関係者のみで行っているのが現状だと思います。そういう個々の分野のイベントを一緒にして横断的な取組みを行い結び付けていけば今まで関わっていない人、知らなかった人との関係もできて活性化につながっていくと思います。

オ この地域の魅力あるものを発見し、作り出すことが必要だと思います。

カ マップを作っただけで終わらせないで、その後に観光と農業を結び付けた取組みにつなげていくようにすればいいと思います。

キ 神林の旗を作り、神林で開催されるイベント会場に立てて写真を撮り、次に開催されるイベント会場へ届けるリレーをしていけば交流が生まれてくるのではないかと考えています。

ク 新しいことを始める、新しいものを作るのではなく、現在がんばっている人を盛り立てることが大切だと思います。

ケ 神林の交流に関し各種の団体に参加してもらって協議会をつくり、取りまとめを地域審議会で行うという方向で進めていければと思います。

コ 神林のいろいろな分野、団体の人が集まる機会はなく、これからは必要なことだと思いますのでとてもいいことだと思います。

サ 一同に集まることによって、多方面からの意見や要望を聞き、話し合うことで、いい案も出てくるでしょうし、横のつながりもできると思うのでとてもいいことだと思います。

シ いろいろな方たちに集まってもらって、話してもらうということですが、しっかりとしたテーマとまとめ役の人を決めておかないと、人数が多くなればさまざまな方向の個人の意見の出し合いとなって、座談会で終わってしまうことも考えられると思います。そうなっては意味がなくなります。

ス 神林地区にはまちづくり組織、公民館組織や他にもさまざまな組織があり、それぞれに人材育成をうたっています。育成というのは、みんなの声を聴くことではなくて、考えをもってやろうとして、やっている人を支援して伸ばしてやるのが人材育成だと思っています。

セ コーディネート組織がないからだと思います。そこで育った人が、観光であれ、産業であれ、全ての分野に関わっていくようにすればいいことだと思います。

ソ 現在すでに地域のために活動をしている組織、団体があるので、その人たちががんばるように支援していくことの方が、大事なことだと思います。

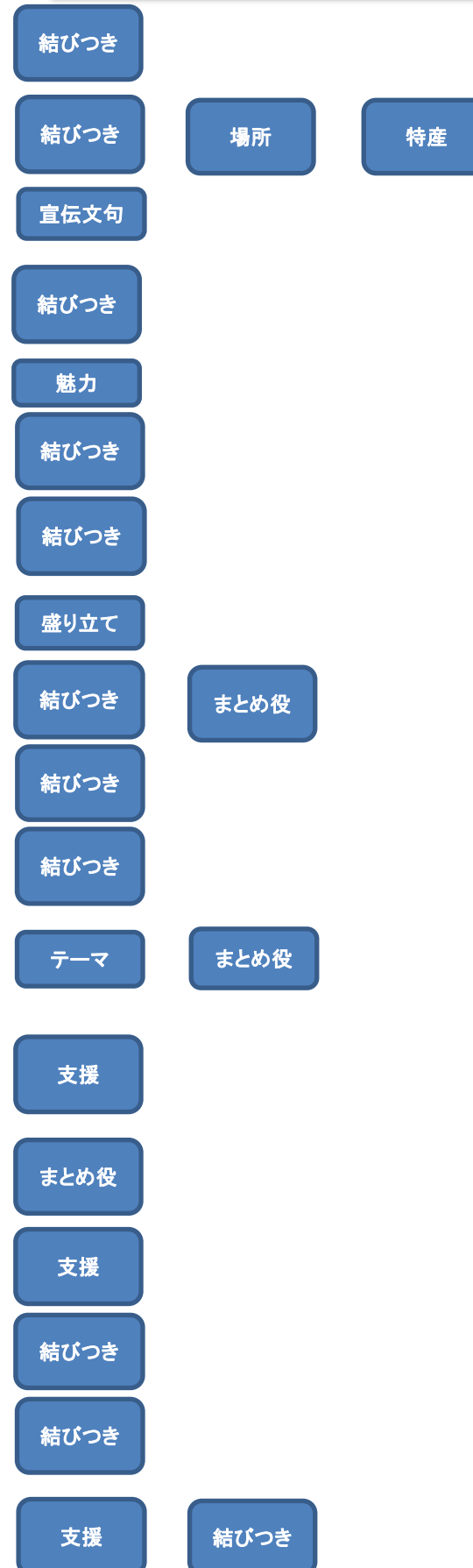
タ 現在、集落では自主防災活動、まちづくりなど行政からの仕事が多過ぎます。縦割り行政のために新しい組織が次々と作られていることに原因があるので、結び付ける手立てが必要だと思います。

チ 神林地区の各種団体、組織の人に集まっていただいて協議をってもらう方向で進めるようにしたらどうでしょうか。

ツ お幕場と大池と平林城跡で活動している関係者に、現在の活動内容を確認しておいてほしいと思います。その方たちの活動に支援ができるようにもっていかねばと思っています。その後、隣接の人たちとのネットワーク化、つながりができていければと思います。これらの関係から始めて、その後イベントも必ず必要になってくるので、初めから範囲を広げずに次の段階から入ってもらうことでいいと思います。

神林地区
 地域活性化推進事業の方針

各意見のキーワード



1 地域活性化推進事業を実施するには、(地域審議会)でテーマを決め、そのテーマについての事業を立案する。
 2 事業実施に際しては、これまで活動してきた団体や関係者から協力を仰ぎ、それぞれの活動の成果が発揮できるように連携して計画実施する。

